

すなお

令和6年6月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮英治

発行日 2024.6.16 通巻 No.767



会長

教祖の逸話篇173に「皆、吉（よ）い日やで」というお話があります。冒頭、

教祖は、高井直吉に、「不足に思う日はない。皆、吉（よ）いやで。世界では、縁談や棟上げなどには日を選ぶが、皆の心の勇む日が、一番吉（よ）い日やで。」と教えられた。

こうして、1年365日全てが陽気ぐらしを目的に与えて下さった一日一日であり、その中から敢えて良い日と選ぶ必要もないし、悪い日や忌み嫌う日もないと教えて下さっています。ですから、今治市では【友引】は火葬場閉鎖のため葬儀は出来ませんが、天理教の教えにおいては全く関係のないことと言えますし、また結婚式において【大安】を選ぶ必要もありません。

私たちは教祖より、人間が陽気ぐらし出来るための教えを聞かせていただいています。具体例を出せば先ほど申したようなことですが、世間の常識や有名な方が言う言葉に振り回されてはなりません。形の上では江戸・明治と言われる教祖の時代からは多くのものが変わってきましたし、私たち皆がその恩恵を受けています。それを否定することはありません。しかし、時代が変わっても私たちの身体の構造は変わりませんし、この宇宙の動きは全く変わりませんし、それぞれの心が身体を動かしている事実も変わりません。

目先の小さな部分の変化に心が踊らされないよう、変わらない真理、天理を心に求めながら進んでいただきたいと思います。そして、日々の生活の中で自分の考えや思いが教祖のひながたに沿っているのか、どうなのかを時に思案していただきたいと思います。その時に決して、隣の誰かやあの人ではなく自分の心に確認をしていただきたいと思います。

どこまで行っても教祖と私です。さあ、勇んで歩みましょう。



喜びの心で

田中 道則

新しい職場に来て半年が経ち、充実した日々を送らせてもらっています。

息子の陽都もだいぶ背が伸び、保育園で友達とこんなことをしたとか、習った歌を歌ったたりとすくすく成長しています。本当にありがたいです。また、とてもパパっ子で今だに抱っこ抱っこで色んな所へ行きます。自分の小さい頃を思い浮かべると、父の身上が重かったのであり親に甘えた記憶がありません。甘えられる状況でなかったように思います。

しかし、家族みんなで父の身上が治るよう教会へ運び、ご守護頂き晩年の父はすごく穏やかで一緒にいて楽しい人でした。父が身上じゃなかったら、自分もパパっ子だったのかなと思ったりもします。届かぬながらも一生懸命信仰すれば、一代でこんなにも運命が変わるという事を教えてもらいました。信仰の元一日を忘れず喜びの心でつとめていきたいです。



ようぼくへの第一歩

曾我部 茜

この度おさづけの理を拝戴させていただき、晴れてようぼくとなりました。久しぶりのおちばへ帰り、別席を運ぶことにどれだけ値打ちがあるのか実感する日となりました。

「別席へ」のお声をかけていただいてから満席まで4年ほどかかりましたが神様への思いは切らさず、こつこつと運ばせていただきました。今までおさづけをしてもらうことがありましたが、これからはお助けさせていただける側になれたと思うと大変嬉しく思います。24歳になった1週間ほどあとにおさづけの理をいただき、これもタイミングが合ったからこそこのいいスタートが切れたと思いました。

別席で聞いた事や感じた事を思い返しながら、まずは身近な方から目を向けさらに成長できるように行動していきます。

《教会ニュース》

教会長登殿参拝報告

先月、26日教祖140年祭教会長登殿参拝に瀬戸路分教会を代表して会長が参拝させていただきました。大怪我の身上を頂いてからちょうど2年を経て、正座にて参拝させていただくことが出来ました。本当にありがたいことです。これからも喜び心を積み重ねてつとめさせていただきます。

ようぼく誕生

今月8日に曾我部茜さんがおさづけの理を拝戴され、ようぼくになりました。コロナ禍を経て繋いでこられました。これからの活躍を期待します。（本人感想は上部掲載）

こどもおちばがえり

今年のこどもおちばがえりは7月27日（土）28日（日）の1泊2日でつとめられます。暑い中での帰参になると思いますが、おちばへの熱い思いを持ちながらお帰りいただきたいと思います。詳細は少年会担当の田中道則くんにお尋ね下さい。



編集後記

この前、娘が無事におさづけの理を拝戴しました。思えば私も別席を運ばせて頂き、おさづけの理を拝戴した時のことを思い出します。

これからは、お互いようぼくの一人として、共に人に喜んで頂けるようつとめたいと思う今日この頃です。（編集者K）